

# 災害から資料を守り、救うために



眞野 節雄

# こんなとき あなたならどうしますか？



あなたの図書館はどうなるかおしゃれせんよ。



**地震・水害・火災**……こんな災害に襲われたとき、  
あなたの図書館はどうなるか、想像してみてください。  
このパネルを通して私たちができること・できないこと  
をいっしょに考えてみませんか。

パネル「利用のための資料保存：図書館資料の劣化とその対策」災害編①

（日本図書館協会資料保存委員会 2006）

災害対策は、「予防」から「復旧」までの4つの段階があります。しかし、災害に遭遇してからできることは限られているといつていいでしょう。ふだん私たちにできることは、被害を最小限にするための「事前対策」です。「事前対策」こそが最大かつ有効な対策です。

### 災害が起きないうちに…「事前対策」

予防

#### 1の予防は10の治療に勝る！

災害の可能性、危険箇所などを洗い出し、対策を講じ、改善に努め、被害を受けにくい環境づくりをすすめます。防災設備などの日常的な点検・管理も大切です。また、蔵書を評価し、救出すべき資料の優先順位を定めます。それによって、資料の保管場所を変えることもあるでしょう。

準備

#### 万一のとき、誰が何をするか、決まっていますか？

いざというときのための態勢を決め、マニュアルを作成します。通報・連絡網を準備し、必要な資材を用意しておきます。定期的な訓練により危険を大きく減少することができます。館外の専門家や協力者の連絡先も確認しておきましょう。

### 災害が起きたら…「対処」

緊急対応

#### 被害を最小限に抑えよう！

マニュアルに従って行動し、必要に応じて、専門家に連絡します。まず、資料を被害現場から安全な場所に移します。

復旧

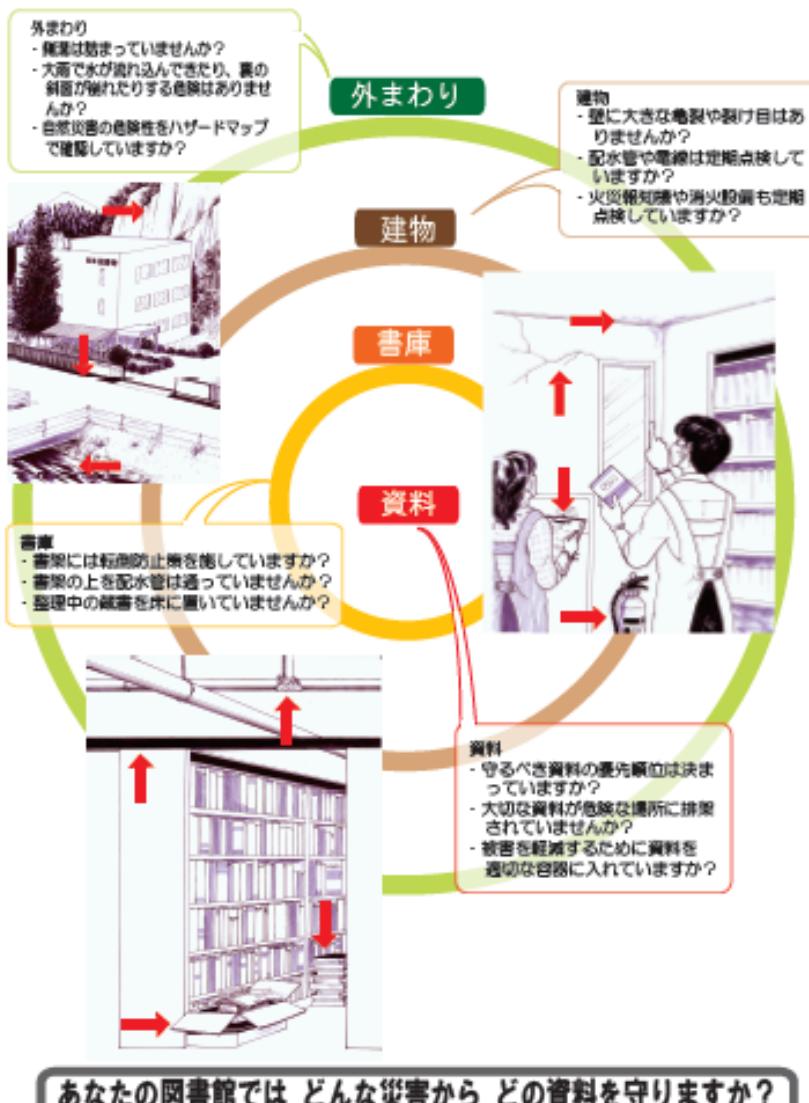
#### それぞれの館にふさわしい方法で！

災害復旧に関する知識は以前に比べたくさん得られるようになりました。さまざまな経験や専門家のアドバイスを参考にし、迅速かつ冷静に対処することで、大切な資料を救済できます。また、「取り替える」「捨てる」という選択をすることもあります。

- 災害の可能性、危険箇所などを洗い出し、対策を講じ、改善に努め、被害を受けにくい環境づくりをすすめます。防災設備などの日常的な点検・管理も大切です。また、蔵書を評価し、救出すべき資料の優先順位を定めます。それによって、資料の保管場所を変えることもあるでしょう。
- いざというときのための態勢を決め、マニュアルを作成します。通報・連絡網を準備し、必要な資材を用意しておきます。定期的な訓練により危険を大きく減少することができます。館外の専門家や協力者の連絡先も確認しておきましょう。
- マニュアルに従って行動し、必要に応じて、専門家に連絡します。まず、資料を被害現場から安全な場所に移します。
- 災害復旧に関する知識は以前に比べたくさん得られるようになりました。さまざまな経験や専門家のアドバイスを参考にし、迅速かつ冷静に対処することで、大切な資料を救済できます。また、「取り替える」「捨てる」という選択をすることもあります。

## 予防

# リスクを知ろう



パネル「利用のための資料保存：図書館資料の劣化とその対策」災害編③

## 【外まわり】

- ・側溝は詰まっていますか？
- ・大雨で水が流れ込んできたり、裏の斜面が崩れたりする危険はありませんか？
- ・自然災害の危険性をハザードマップで確認していますか？

## 【建物】

- ・壁に大きな亀裂や裂け目はありませんか？
- ・配水管や電線は定期点検していますか？
- ・火災報知機や消火設備も定期点検していますか？

## 【書庫】

- ・書架には転倒防止策を施していますか？
- ・書架の上を配水管は通っていませんか？
- ・整理中の蔵書を床に置いていませんか？

## 【資料】

- ・守るべき資料の優先順位は決まっていますか？
- ・大切な資料が危険な場所に排架されていませんか？
- ・被害を軽減するために資料を適切な容器に入れていますか？

# 特に大切なのは、水害対策

- 資料被災のなかで最も頻繁に発生し、厄介なのは水害・水濡れ。
- 資料が受ける被害はさまざまであるが、水濡れは、津波や洪水のような大災害ばかりでなく、ゲリラ豪雨、消防活動、地震などによる配水管等の破損、故障、老朽化施設の雨漏り…等々、日常的にも起こりうる災害である。
- また、他の被害は、とりあえず放置しておいて、あとでゆっくり対応すればよいのに対して、水に濡れると最悪48時間でカビが発生するので緊急を要する。

# 近年の水害（土砂災害含む）の発生状況

平成23年から令和2年までの10年間に、

- 全国の市町村の約98%で1回以上の水害が発生
- 半数以上(57.7%)の市町村で、10回以上もの水害が発生
- 一度も河川の氾濫などによる水害が起きていない市町村は、わずか2.4% (41市町村)に過ぎない。

内閣府「市町村のための水害対応の手引き」2023.5より

平成23年～令和2年に発生した水害件数

※土砂災害含む

■ 水害が10回以上の市町村：1,005市区町村(57.7%)

■ 水害が5～9回の市町村：427市区町村(24.5%)

■ 水害が1～4回の市町村：268市区町村(15.4%)

■ 水害が0回の市町村：41市区町村(2.4%)

(令和元年末 全市区町村数)：1,741市区町村(100%)



令和3年



令和元年

※長野県ウェブサイト



長野県長野市千曲川沿川の  
浸水状況

※須賀川市ウェブサイト



福島県須賀川市阿武隈川  
沿川の浸水状況

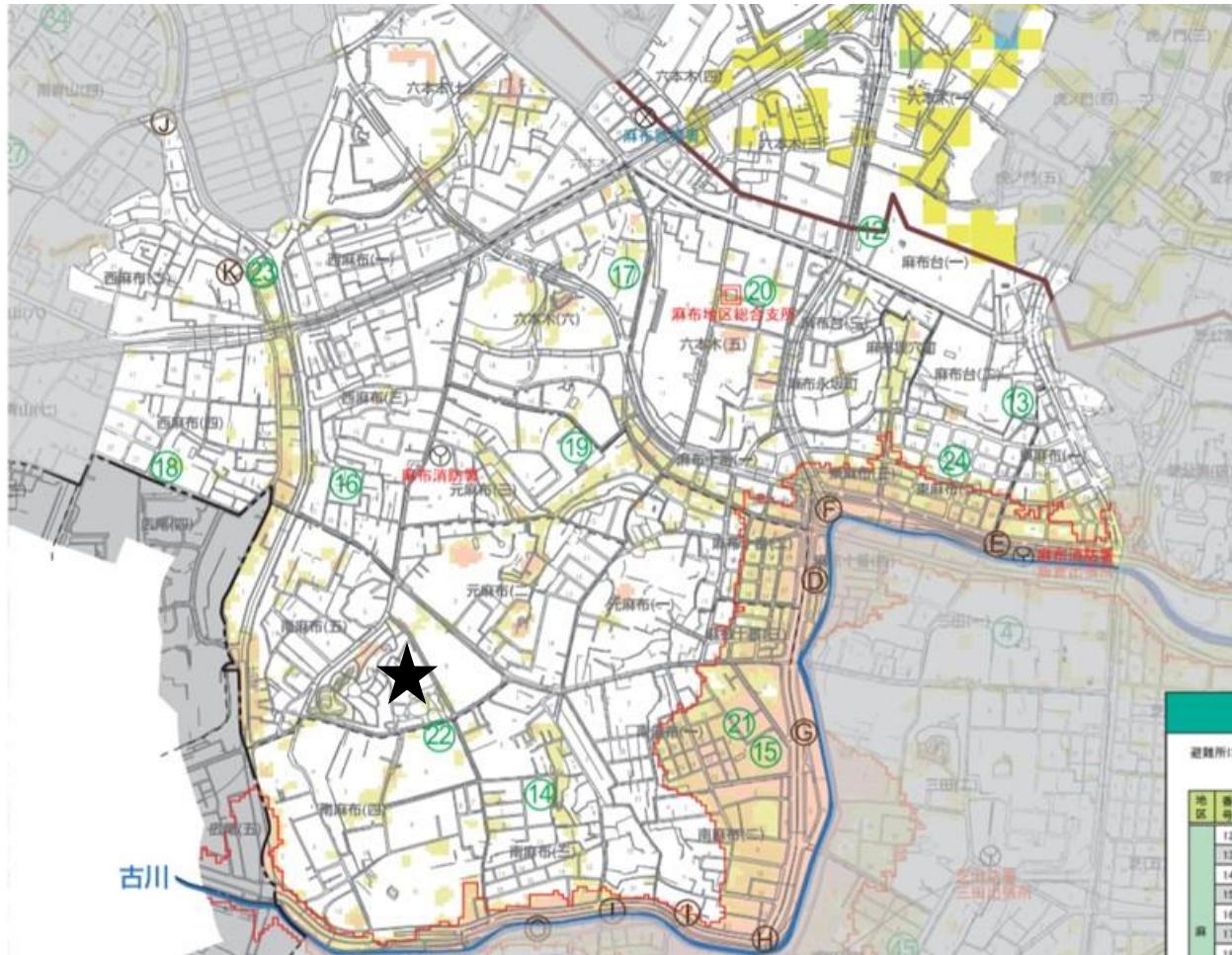
令和2年



熊本県人吉市街部に  
おける浸水状況



# 【予防】ハザードマップ



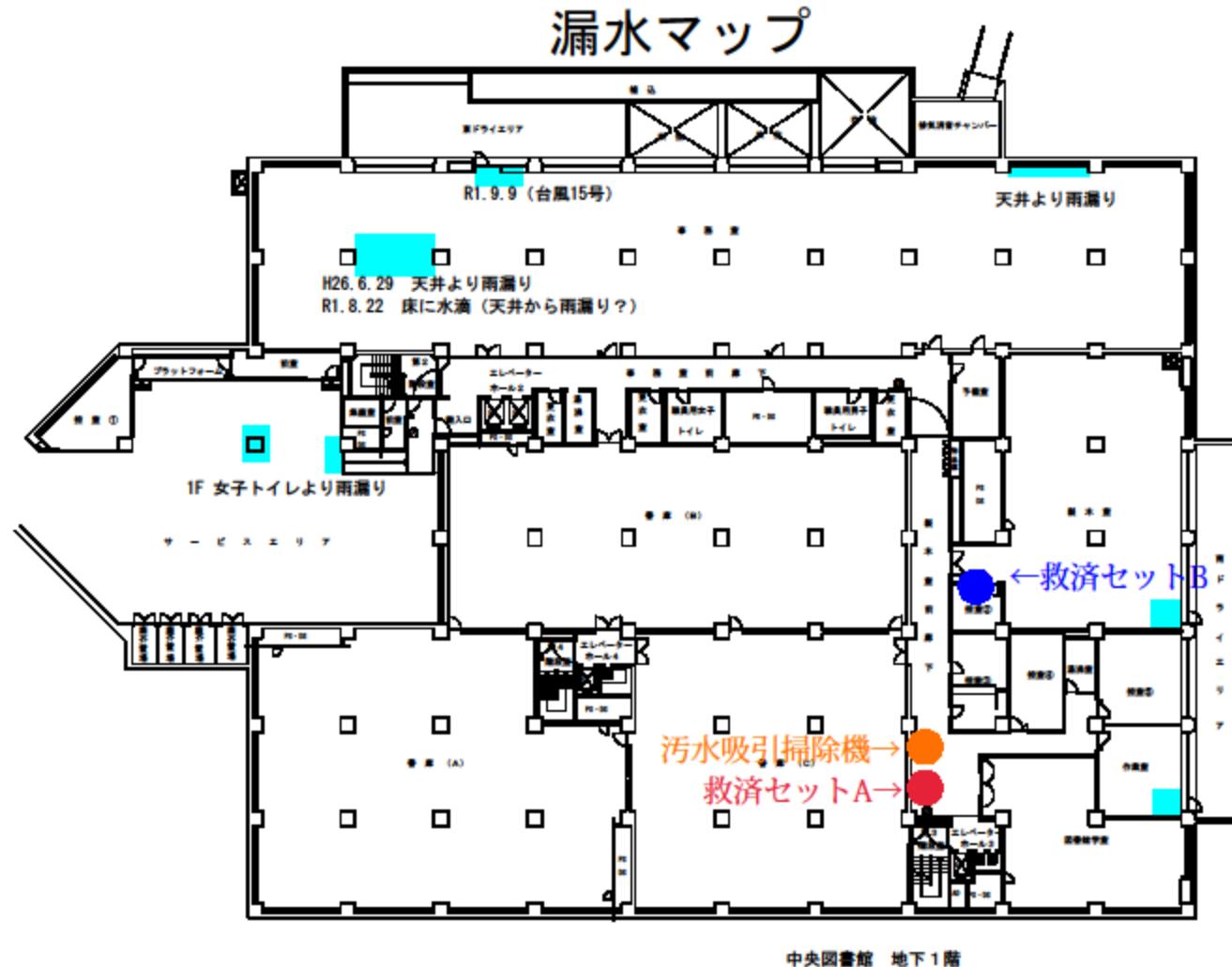
凡 例	
水の深さ	隅田川及び新河岸川流域 城南地区河川流域
5.0m 以上	
2.0m 以上	
1.0m ~ 2.0m	
0.5m ~ 1.0m	
0.2m ~ 0.5m	
0.1m ~ 0.5m	
防災関係施設等	
① ~ ⑦	区民避難所(地域防災拠点)
⑧ ~ ⑯	土のう配置場所
—	古川氾濫浸水想定区域
○	区役所
■	各地区総合支所
◎	警察署
▽	消防署
---	区界
---	町界
----	丁目界
—	流域界

区民避難所(地域防災拠点)		
避難所に避難する際には、港区役所に連絡をお願いします。 (TEL: 03-3578-2111)		
地 区	番 号	当該名
	12	麻布小学校
	13	旧駒込小学校
	14	本村小学校
	15	東駒込小学校
	16	昇小学校
	17	六本木中学校
	18	高輪中学校
地 区	番 号	施設名
麻布地区総合支所	TEL:03-5114-8803	
D	新広尾公園(小山根)	麻布十番 4-5-1
E	中ノ橋児童遊園	東麻布 1-30-1
F	一の橋公園	東麻布 3-9-1
G	南麻布一丁目児童遊園	南麻布 1-7-29
H	吉田郷里公園	南麻布 3-16-11

土のうを提供しています		
区では皆さんに自動的に浸水を防止していただくため、土のうを無料で提供しています。土のうが必要な場合は、以下の配置場所からご自由にお持ちください。		
地 区	番 号	施設名
麻布地区総合支所	TEL:03-5114-8803	
D	新広尾公園(小山根)	麻布十番 4-5-1
E	中ノ橋児童遊園	東麻布 1-30-1
F	一の橋公園	東麻布 3-9-1
G	南麻布一丁目児童遊園	南麻布 1-7-29
H	吉田郷里公園	南麻布 3-16-11

東京都 港区 浸水ハザードマップ

# 【予防】自館のハザードマップ



# 【予防】



天井からの漏水



帰宅時、ブルーシートで資料を覆う

# 【予防】大切な資料はなるべく上に。

ハザードマップに対応して…

- ・上の階に。
- ・同じ階であれば、なるべく上の段に。
- ・床置きは厳禁。
- ・できれば保存箱に入れて。



準備

- \*緊急時に備えて、行動マニュアルを作成しておきましょう。
- \*緊急対応にあたるメンバー表や緊急連絡先など確認しておきましょう。
- \*必要な資材（懐中電灯・扇風機・ビニールシート・軍手・ビニール手袋・ポリ袋・タオル・吸い取り紙・などを備えておきましょう。

【参考資料】『書庫の救急箱』全国歴史資料保存利用振興連絡協議会防災委員会発行 1998

緊急対応

復旧



- \*人・施設・資料の安全確保を第一に。片付けは安全な装備・服装で、やみくもに行うのではなく、優先順位を考えて。被害の記録も忘れずに。
- \*水による被害から資料を守りましょう。水害時はもちろん、地震に伴う配水管の破裂や火災消火時の水濡れも資料には大敵。
- \*水濡れ資料は、カビが出たら大変！ 室内の換気を良くし、温度・湿度を下げましょう。カビはおよそ48時間で発生します。

【参考資料】『図書館、文書館における災害対策』

サリー・ブキャナン著 安江明夫監修 日本国書館協会 1998

バネル「利用のための資料保存：図書館資料の劣化とその対策」災害編Ⅲ

- \*緊急時に備えて、行動マニュアルを作成しておきましょう。
- \*緊急対応にあたるメンバー表や緊急連絡先など確認しておきましょう。
- \*必要な資材（懐中電灯・扇風機・ビニールシート・軍手・ビニール手袋・ポリ袋・タオル・吸い取り紙・などを備えておきましょう。

\*人・施設・資料の安全確保を第一に。片付けは安全な装備・服装で、やみくもに行うのではなく、優先順位を考えて。被害の記録も忘れずに。

\*水による被害から資料を守りましょう。水害時はもちろん、地震に伴う配水管の破裂や火災消火時の水濡れも資料には大敵。

\*水濡れ資料は、カビが出たら大変！ 室内の換気を良くし、温度・湿度を下げましょう。カビはおよそ48時間で発生します。

# 【準備】

#### ① Aセット(現場対応用) 赤い容器

漏水が発生したことがある又は予想される箇所の付近に配備することにより、被害の拡大防止と水漏れ資料の救出に必要な機材のセット

目的	No	品目	数量	用途
水漏れの発見	1	吸水土のう	6個	吸水及び水漏れ範囲拡大防止
	2	バケツ	3個	
	3	雑巾	30枚	汚れの拭取り、吸水など
	4	新聞紙*	適量	吸水及び資料梱包
隔離	5	ブルーシート	2枚	現場養生
	6	ビニール紐	1個	
	7	養生テープ	2個	
	8	はさみ	1個	
	9	ポリ袋	100枚	一時的な乾燥防止(主に塗工紙)
資料の避難	10	軍手	10双	防護
	11	マスク	1箱	防護
	12	ゴム手袋	1箱	防護
	13	台車*		適宜あるものを使用
記録	14	カメラ	1個	
	15	被災記録票	適量	
	16	油性ペン	3本	
	17	鉛筆	12本	
収納	18	コンテナ	1個	救済セット収納用

\*4.13はコンテナに収容しない



コンテナの大きさ=たて59cm×よこ48cm×高さ82cm 容量90リットル

## ② Bセット(資料対応用) **青い容器**

水漏れ資料を避難させた場所で応急措置を行うために必要な機材のセット

目的	No	品目	数量	用途
資料の乾燥	19	タオル	30枚	吸水
	20	吸水紙	8束	吸水
	21	竹へら	10本	ページ剥がし
	22	ピンセット	10個	ページ剥がし
	23	耐水紙	1本	貼りつき防止(主に塗工紙)
	24	不織布	適量	貼りつき防止(主に塗工紙)
	25	板*		適宜あるものを使用
	26	重し*		適宜あるものを使用
時間かせぎ	27	脱気処理法器材セット*		カビ抑制のため
	28	ボリ袋	100枚	一時的な乾燥防止(主に塗工紙)
カビ発生防止	29	白衣	1箱	防護
	30	エタノール(500ml)	1本	消毒
	31	マスク	10枚	防護
	32	霧吹き	2本	エタノール入れ
収納	33	コンテナ	1個	救済セット収納用

\*25~27はコンテナに収容しない。27は資料保全室で保管。



©2013 東京都立中央図書館

# 【準備】



冷凍庫



乾濕両用掃除機

# 都立図書館・「災害対策」

- 「災害対策」（都立図書館「資料保存のページ」）

[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about\\_us/collection\\_conservation/conservation/index.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about_us/collection_conservation/conservation/index.html)

- 「資料防災マニュアル」

[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about\\_us/collection\\_conservation/conservation/disaster/index.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about_us/collection_conservation/conservation/disaster/index.html)

- 「マニュアル動画「被災・水濡れ資料の救済マニュアル」（17分）」

<https://www.youtube.com/watch?v=svCK-yQDyOs>

## 【被災したら】

- 0 あきらめない！！
- 1 「捨てる」、「取り替える」(再入手)
- 2 出来るだけ水道水で洗浄する。  
(塗工紙の貼り付きやカビの抑制)
- 3 冷凍する。(時間稼ぎ)
- 4 記録(写真も)を残す。
- 5 助けを求める。

## 【5 助けを求める】

- 上部機関等（例えば公立図書館であれば、県立図書館）
- 日本図書館協会・図書館災害対策委員会
  - <https://www.jla.or.jp/committees/saigai/>
- 日本図書館協会・資料保存委員会「被災資料救済・資料防災情報源」
  - <https://www.jla.or.jp/committees/hozon/hozon-johogen/>
- 国立文化財機構 文化財防災センター <https://ch-drm.nich.go.jp/>
- 歴史資料ネットワーク（史料ネット） <http://siryo-net.jp/>
- SaveMLAK（博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報）  
<https://savemlak.jp/>

# 【詳しく、具体的には】

- ・東京都立図書館ホームページ 資料保存のページ

「災害対策 資料防災マニュアル」

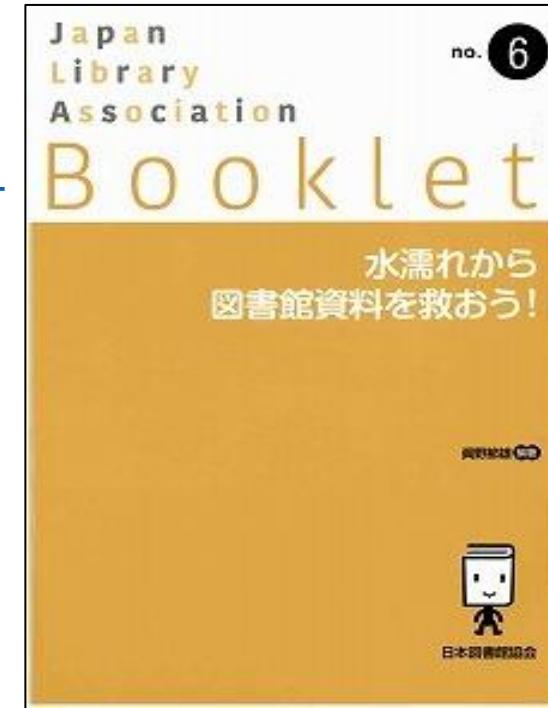
[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about\\_us/collection\\_conservation/conservation/disaster/index.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about_us/collection_conservation/conservation/disaster/index.html)

「被災・水濡れ資料の救済マニュアル」動画（17分）

<https://www.youtube.com/watch?v=svCK-yQDyOs>

- ・『水濡れから図書館資料を救おう！』

眞野節雄編著 日本図書館協会 2019



# 最後に...

## 図書館と図書館員の歴史でもある資料を伝えるために あきらめない志







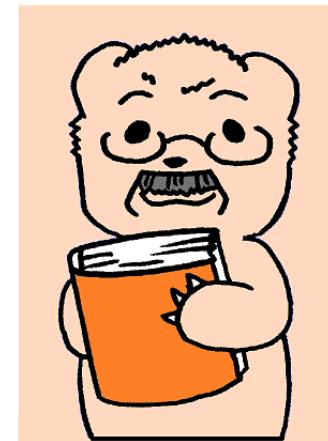


レジリエンス（回復力）

陸前高田市立図書館「展示コーナー」

記録動画「大津波からよみがえった郷土の宝—  
陸前高田市立図書館郷土資料の修復」(15分)

<https://www.youtube.com/embed/ZPRxDGGcXu8>





DBJ Booklet No.3

**資料を未来につなぐ  
～東日本大震災で考えたこと～**  
**眞野節雄 講演録**

DBジャパン編



日頃の緊急事態への心構えこそが貴重な資料を守るカギ  
東日本大震災の教訓から学ぶ、  
資料を長く残していく心構えの大切さ

「人々の歴史、記憶を必ず伝えていく。そういった諒めない心、資料を未来につないでいくという志を私も常に持っていたいと思います」——本講演より

DBジャパン 2023

「人間の、悲しかったこと、楽しかったこと、それを伝えるんが、お前の仕事じゃろうが。」（井上ひさし「父と暮せば」より）